

臨床研修地域医療研修兼外来研修（並行研修）カリキュラム

全体目標：

地域に根差した中小病院（200 床以下）において、診療所や在宅との病診連携、地域の急性期対応病院との連携等の医療体制を理解し、患者とその家族に対して、全人的に対応することができる。

個別目標：

- 1) 病診連携・病病連携を含め、病院・診療所の役割が理解できる
- 2) 診療所での患者の診療を理解できる
- 3) 回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、療養型病棟等の医療に関して理解し、実践できる
- 4) 外来での診療を行うことができる
- 5) 在宅での介護や医療に必要な制度や物品を理解し、準備ができる
- 6) 診療所からの病院へ紹介患者に対応できる。また、逆紹介に関して理解し、必要なものを準備できる。

方略：

- 1) 1 か月～3 か月間 200 床未満の地域医療研修対象病院（一部付属の診療所をふくむ）で研修し、診療に参加する
- 2) 外来で初診から慢性期の患者の診療を行う
 - ・ 当日初診患者および予定受診患者の中から指導医が選定した患者の診療
医療面接→身体診察→臨床推論→診療計画の立案→実施
指導医に適時相談できる体制で行う
患者診療を終了する前に指導医に診療内容を確認してもらう
 - ・ 予防接種の問診と実施
 - ・ 診療所でできる検査への参加および結果説明
 - ・ 生活習慣病患者への生活指導 など
- 3) 指導医に同伴して在宅医療の場を経験する
- 4) 地域連携カンファレンスや多職種合同カンファレンスに主体的に参加し、多職種連携について経験し、チーム医療の中で医師としての役割を果たす
- 5) 紹介状の返事、逆紹介の資料作成を行う

評価：

- 1) PG-EP00 または指定の評価表による評価を行う
- 2) 半年に 1 回面接評価（中間評価、修了評価）を行う